※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	スポーツⅡ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

体育科として専門の競技だけではなく、他の球技の特性を理解し専門的な技術を習得してほしい。そのためには、歴史・ルール等基本的な事項も理解する。より取り組みやすくする為に、ゲーム形式の授業を取り入れるが、勝敗のみにこだわらない。

２　学習の到達目標

体育科として、目標を設定し、球技スポーツの運動を合理的に実践することにより、基礎体力を向上させ、運動技能の習得、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、自他の心身の健康を保持・増進させ、公正・協力・責任・参画・共生などへの態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	「スポーツⅡ」に関連して高まる体力やその高め方、学習する運動の行い方やその学び方、運動を他者と学び合う際の動きや改善のポイントの示し方、仲間と継続的に活動するための調整の仕方、運営方法や審判方法、初歩的な指導法、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方やマナーなどの多様な関わり方を実践するための事項を理解している。多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付け、他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで他者に表現することができる。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与することができるよう、運動、運動実践につながる態度、体力や健康・安全、生涯スポーツの推進及び発展の観点から、「スポーツⅡ」に関連して思考・判断し、それを他者に伝えることができる。	生涯にわたってスポーツを実践していく際の公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、スポーツの推進及び発展に寄与する自己の姿勢や他者、地域社会との関わり方などのスポーツの価値を高めることに主体的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2・3	男子 サッカー	サッカー (体力トレーニング・ボール操作・グループ活動・ゲーム・スキルテスト)	a: 運動の特性に応じた個人的技術や集団的技術の構造について、具体例をあげて行動することができる。個人的技能や集団的技能を習得し、それを高めたり、習得した技能を活用し、攻防を展開することができる。 b:: 自分やチームの課題を分析し、その課題を解決するための適切な練習の方法などを考え、取り組むことができる。また、それを他者に伝えることができる。 c: 練習やゲームでチームにおける役割を積極的に引き受け自己の責任を果たし、仲間と協力し、合意形成に貢献しようとすることができる。	スキルテスト 観察 レポート	スキルテスト 観察 レポート	スキルテスト 観察 レポート
	女子 バレーボール	バレーボール (体力トレーニング・ボール操作・グループ活動・ゲーム・スキルテスト)	a: 運動の特性に応じた個人的技術や集団的技術の構造について、具体例をあげて行動することができる。個人的技能や集団的技能を習得し、それを高めたり、習得した技能を活用し、攻防を展開することができる。 b:: 自分やチームの課題を分析し、その課題を解決するための適切な練習の方法などを考え、取り組むことができる。また、それを他者に伝えることができる。 c: 練習やゲームでチームにおける役割を積極的に引き受け自己の責任を果たし、仲間と協力し、合意形成に貢献しようとすることができる。	スキルテスト 観察 レポート	スキルテスト 観察 レポート	スキルテスト 観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度